



宇久中だより2018

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成30年10月1号)
文責 校長 田雑 健
平成30年10月5日(金)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

駅伝競走終わる

台風接近に伴い、宇久島を出るが出るまで心配しましたが、10月2日(火)に開催された平成30年度佐世保市中学校体育大会駅伝競走に無事参加することができました。

やや風は残っていましたが、大会前日となる1日(月)夕方に佐世保に着き、会場となる佐世保市総合グラウンド陸上競技場で練習まで済ませることができました。沈みゆく夕日をバックに黙々と走り続ける選手の姿に感動しました。



2日(火)の大会当日は、朝からやや肌寒いぐらいで、駅伝にはほぼベストの天候となりました。熱戦を終え、女子は23位(47分30秒)、男子は27位(1



時間14分9秒)という成績を残しました。順位については決して上位とは言えませんが、全区間に選手を出し、チームとしての記録を残しえたことをとてもうれしく思っています。宇久中としての「たすき」をつないだこと、そして1年生選手が重圧に負けず先輩について走りぬいてくれたことを今大会の成果としたいと思います。

3年生は最上級生としてチームを引っ張り、責任を果たしてくれました。1・2年生は今年度の成果、反省点を来年度に生かすよう、気持ちを新たに「たすき」をつなぎましょう。

最後になりましたが、本大会にご理解・ご支援をいただいた皆様に紙面を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

前期を締めくくる

今日で前期が終了します。1年間の流れの中でひとつの大きな区切りを迎えたということです。4月開始直後から多くの行事が続いた前期でしたが、振り返った時に、どのようなことが思い浮かんでくるでしょうか。

終業式で、経験を積むことについて話をしました。経験を力にしていくなめには目的・目標が必要だともお話ししました。わずか3日間ではありますが、気持ちの持ちようで「切り替え」は十分に可能です。学級で前期を反省し、後期の目標を立てるという時間もあったと思います。そこで自分が考えたことをもう一度しっかり吟味して、残り6か月をかけて達成できるように計画を立ててほしいと思っています。

なお、7月～9月は「様々な体験 ― 為すことで学ぶ ―」を考え実行する際のめやすとしていました。修学旅行や野外宿泊活動、中高合同体育大会、そして駅伝競走と多くの行事や活動を行う中で、得るものがあったと思います。

続いて10月～12月の重点は

10月～12月の重点

文化の香り ― 不易と流行 ―

○市音楽発表会、宇久文化祭、なぎなた踊り など

です。心してかかりましょう。

前期終了

本日、前期終業式を執り行いました。各学年代表、生徒会代表から前期の反省が発表され、私から下記の内容を骨子として、話をしました。

○本年4月、皆さんには大きく3つのことについてお話をしました。

○1つめは「自分の立場・役割を意識して行動すること」です。立場によって、為すべき役割が生まれてきます。それぞれに期待されている立場・役割を自覚して、積極的に取り組むことで、さらに大きな成長につなげてほしい。

2つめは「広い心と甘えない強さを養うこと」です。自らの判断で正しく行動できるようになるためには「広い心」と「甘えない強さ」が重要です。「寛容」と「節度」と言い換えてもいいでしょう。この2つをしっかりと養ってほしい。

3つめは、「計画的に物事に取り組むこと」です。何事にも計画をしっかりと立てて取り組んでいくことが大切です。節目節目で現状を振り返り、調整・改善をしながら活動を続けて、目標を達成してほしい。

○以上、実践できたでしょうか。4月から多くの場面でみなさんの頑張る姿を見ることができました。頑張っただけの手ごたえがあり、うれしい思いをしたこともあったでしょう。逆に頑張ったのに結果に結びつかず悔しい思いをしたこともあったかもしれません。

○成功にしても失敗にしても、人は経験をつむことによって力をつけていくものです。ただし、漠然と物事を重ねてもそれは経験としての力にはなりません。経験を力にするには、確固とした目的が必要なのです。

○4月からの皆さんの努力を称えると共に、後期に向かって、ここで自分の目的・目標を確認し、その達成のために力を尽くしてくれることを期待しています。

一人一人が自分の現状に応じた取組を進められるよう、前期の反省、後期の目標や計画立案について各学級で指導しているところです。また学びの足跡を示すものとして、通知表をお渡ししています。ご覧頂いた上で、励ましや助言をいただければ幸いです。何かご不明な点がありましたら、どうぞ遠慮なく中学校にご連絡ください。

4月からここまでの、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力にお礼を申し上げ、前期終了のご挨拶とさせていただきます。

学びの機会 ー郷土料理教室編ー



まずは挨拶から



ご指導いただきながら



調理は進みます



無事に会食へ

紹介が遅くなりましたが、先月18日(火)、宇久地区食生活改善推進委員の皆様と栄養士の志方先生に講師をお願いして、2年生を対象に「郷土料理教室」を実施しました。アジのかわり井、ナスの味噌汁、やわらかもちもち団子という宇久の食材を生かした献立で指導いただきました。ていねいにご指導いただいたおかげで、2年生8名の調理も無事終了、会食にこぎつけることができました。私は残念ながら参加できませんでしたが、大変おいしかったとのこと、「来年こそは」と思いを新たにいたしました。